

第 29 回議会報告会 報告書

地 域 名	建屋地域		
年 月 日	令和 8 年 4 月 21 日 (火)	会 場 名	建屋教育集会所
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 05 分
参 加 数	男性 14 人	女性 1 人	合計 15 人
班 長	前田 稔	司 会 者	前田 稔
報 告 者	井戸 弘美	書 記	藤原芳巳
班 員 名	前田 稔、藤原芳巳、津崎和男、井戸弘美		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	① 公立八鹿病院組合への経営支援について説明を求める。	① 公立八鹿病院組合の経営赤字に対し、令和 7 年度から令和 9 年度の 3 年間で 17 億 3,000 万円の一時的な財政支援を行う。負担割合は、養父市 81.7%、香美町 18.3%。その内 14 億円については長期貸付の形を取り、返済は元利の半分となっている。	
	② 多額の赤字という事実を市民も認識して、できるだけ公立八鹿病院を利用すべきではないか。	② 市民の利用は大切なことだ。全国の公立病院の 8 割以上が赤字であり、診療報酬の引き上げも示されているが十分ではない。さらなる国や県の支援が不可欠である。	
	③ 過疎計画についてハードとソフトの具体的な内容は何か。	③ この計画は過疎債を活用するためのもので、ハードはインフラ整備（道路・橋梁・上下水道）、学校・医療施設、消防施設、観光事業施設など。ソフトは、自治協議会の活動（地域づくり）、人材育成、観光振興、教育、高齢者支援、地域交通対策などである。	
	④ 議会だよりの改善点として、債務負担行為の解説が言及箇所から離れすぎてわかりにくい。一般になじみのない用語（サウンディング調査など）は注釈をつけるなど配慮がほしい。	④ レイアウトを考慮した結果として解説が離れてしまった。工夫していきたい。議会だよりに限らず、専門用語や横文字は分かりやすく表現するように申し合わせているので、今後とも努めていく。	

	市 民	対 応
報告に対する質疑	<p>⑤ 但馬圏域での広域連携を推進するとあるが、市のどの組織が担うのか。</p> <p>⑥ オンラインによる意見交換で出た意見とそれに基づく一般質問について説明を。</p>	<p>⑤ 特定の単一組織という事ではなく、案件ごとに推進されている。医療分野（圏域での役割分担）、建設に関する資材の共同購入など。最近では、ごみ処理についても兵庫県内での議論が始まっている。</p> <p>⑥ 子育て世代を対象としたオンライン懇談会を開き、学校のいじめ、こども園・保育所のお弁当の日の負担、ほっとステーション「ククナ」での高校進学後の支援がないことなど様々な意見を聞いた。それに基づいて特に給食費の無償化について質問した。</p>
意見交換会での質疑	<p>① 過疎化が進み区長が出せないなど、行政区として機能不全に陥る地区が出現し、将来的に区の統合などが増える可能性がある。制度的・法的な制約はあるのか。</p> <p>② 学校統合については将来的には市内に小学校、中学校が一つずつになるのか。現状と見通しはどうか。</p> <p>③ 空き家が急激に増えている。老朽化の激しい家屋も存在するが対策はどうなっているか。</p> <p>④ 増加するクマへの対策はどうなっているか。</p>	<p>① 行政区の統合については法律や行政による制約はなく、住民のアイデンティティに基づく合意が最重要である。合意が整えば行政に届け出て新しい行政区になることが可能と考えられる。当局に確認したい。</p> <p>② 教育のあり方検討会の答申が出た段階であり、決定事項ではない。今後答申をもとに議論が進むが、子どもの数だけでなく、地域の思いや保護者の考えが重要である。</p> <p>③ 全国的な課題である。市では解体補助制度（上限 50 万円）があり、多くの利用実績がある。危険空き家に指定されると解体費用補助 133 万円があるほか、場合によっては行政代執行も行われる。</p> <p>④ 市は緊急銃猟の机上訓練を行うなど、体制整備を進めている。</p>
その他（提言など）	<p>① こども園の延長保育については、時間に遅れたら書類を書かされるとか、母親が一番忙しい時間に利用できる施設が少ないなどの課題がある。</p>	<p>① 保育側にも事情があることを承知しているが、市内の全こども園でルールを統一する必要があると考えている。議会で取り上げたい。</p>

	市民	対応
その他 (提言など)	<p>② やぶ医者大賞が続いているが、効果は出ているのか。</p> <p>③ 議会図書室は鍵がかかっているが活用されているか。</p> <p>④ 議会のテレビ放映を見るが、マスクをしたまま発言されても何を言っているか分からない。</p> <p>⑤ 傍聴席に向けたモニターをつけてと意見を言ったが反映されない。</p>	<p>② 表彰は昨年から休止しているが、やぶ医者大賞を受賞した医師のネットワークができており、「YABUフードEXPO」での医療相談など養父市への貢献を模索されている。</p> <p>③ 本会議中は鍵を開けている。普段も議会事務局に声かけいただければ鍵を開けるので、ご利用いただきたい。</p> <p>④ コロナウイルス感染症が蔓延したころはそうだったかもしれないが、今はマスクをしていないのではないか。</p> <p>⑤ 予算もかかることなので、なかなか実現は難しい。</p>
備考	なし	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和8年5月15日

報告者 4班 班長 前田 稔